

家庭学習の手引き

～確かな学力を身に付けるために～



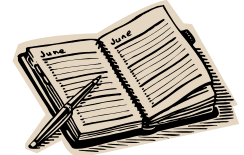
授業が分かると、学校生活がさらに充実します。また、進路選択の幅が広がり、志望が実現する可能性が高まります。

良好な結果を出すためには、授業を大切にすること、家庭学習を自主的に行うことが大切です。限りある時間を効果的に使うために、この冊子を参考にしてください。各教科担任が、自分の成功体験や専門的な見識を基に、具体的な方法をまとめました。

努力が実力へ変わることを、大いに期待しています。

宇都宮市立陽南中学校

毎日、自主的に学習しよう。



○ 学力を高めて、未来をより良くしよう。

- ・ 学力が高まると、進路選択の幅が広がります。希望が実現する可能性が高まります。

○ 規則正しい生活リズムから、家庭学習時間を確保しよう。

- ・ 目標 1年：1時間30分以上、2年：2時間以上、3年：2時間30分以上
- ・ 学習時間を確保するためにも、テレビ・ゲーム・スマホ等の利用の仕方を考えよう。
- ・ 夜更かしは控えて、健康にも気を配ろう。

○ 学習の計画を立て、実行しよう。

- ・ 「何をいつまでにやるか」と長期の見通しを立て、「今日は〇〇を〇分やろう」と具体的な学習内容や時間を決めてみよう。
- ・ 実行できたかをチェックし、必要ならば計画や行動を修正しよう。また、毎日の学習時間や内容をスタンダードダイアリーに記録し、週ごとに1週間の学習の取組を振り返ろう。
- ・ AIドリルなども上手に活用しましょう。

○ 学んだことは、その日のうちに復習しよう。

- ・ ワーク・問題集をやって、理解しているかを確認しよう。
- ・ 答え合わせをして理解が不十分な部分を見つけたら、教科書やノートで確認しよう。
- ・ 家庭学習の充実のためにも疑問点は質問しましょう。

○ 集中して取り組もう。

- ・ スマートフォン・携帯電話等は、調べ学習など必要な時以外には学習する部屋に持ち込まない、電源を切るなどし、集中力が途切れないように工夫しよう。

○ 提出期日を守ろう。

- ・ 「期日を守る」ことは当たり前です。宿題は必ずやり、提出期限を守ろう。社会に出たときに、締め切りを守ることは大切です。

第1・2学年

- ・ 辞典やタブレットを使う習慣を付け、分からないことは調べよう。
- ・ 声に出して教科書を読もう（視覚と聴覚の2系統から、情報をインプットしよう）。
- ・ 大切なことは、繰り返し書いたり、よく見る所に貼ったり工夫して覚えよう。

第3学年

- ・ 3年の学習とともに、1・2年生の復習も進めよう。
- ・ 過去の入試問題にも挑戦してみよう。直前ではなく、早めに取り組んでみることで傾向や目標、弱点がつかめることがあります。
- ・ 時間を決めて、正確に、早く答えられるように練習しよう。

家庭学習の内容や方法

国語

1 予習 → 授業 → 復習 の学習サイクルを身に付けよう。

- ① 授業の単元の読めない漢字や新出漢字等、反復練習して読み書きできるようにしましょう。漢字の練習は正しい字の形（楷書）で丁寧に何度も練習しましょう。
- ② 物語、説明文、古典、どの単元でも教科書を大きな声で音読できるようにしましょう。その時は、聞いている人の立場になり、ゆっくりと大きな声で読みましょう。古典などは暗唱できるようにし、歴史的仮名遣いなどに親しみましょう。
- ③ 授業で書き込んだノートやワークシートを見直しましょう。できなかった問題は必ずチェックし、間違いを繰り返さないようにしましょう。
- ④ 自主学習ノートなどを用意し、毎日漢字の練習や語句等の確認をしましょう。特に、その日に学習した新出漢字などは、10回以上書いて正確に覚えましょう。
- ⑤ 『国語辞典』『漢和辞典』を使って、言葉や漢字を調べましょう。わからない言葉や漢字を自分で調べることで、より記憶に残りやすくなります。

2 普段の生活から国語に親しもう。

- ① 本を読みましょう。
夏目漱石、芥川龍之介、太宰治など、教科書にも載っている有名な作家の本が図書室にもあります。難しい言葉もあるかもしれませんが、是非、読んでみましょう。
- ② 新聞を読みましょう。
世の中で何が起きているかをきちんと知るためには、新聞は素晴らしい情報源です。読解力も高まりますので、短時間でも、毎日読んでみましょう。
- ③ スタンダードダイアリーを毎日書きましょう。
毎日書くことで、文章を書く力が伸びます。適切な漢字を使って、読みやすい文章を書けるようになります。
- ④ 授業で学んだ語句を、会話の中で使ってみましょう。
言葉は、人間関係を成り立たせるものです。学んだ言葉を、普段の生活の中で使ってみましょう。



社会

1 復習が大切です。その日の内容はその日の内に復習しよう。

- ① 授業のノートを見ながら、今日習ったところの教科書を読み、学習内容の確認をしましょう。教科書を繰り返し音読して、内容を理解しましょう。
- ② 重要な語句をノートにまとめて整理し、暗記しましょう。
先生が黒板に、黄色や赤色のチョークで書いた語句を覚えましょう。
(授業中、先生が大切と言った内容や語句を覚えましょう。)
- ③ 授業中に配布した問題プリントやテストを何度も繰り返し復習しましょう。
- ④ 実力をアップするためには、問題集にチャレンジするようにしましょう。
地図帳などを十分活用して問題を繰り返し解いてみましょう。
その時大切なのは、間違い直しです。正しい答えを確認しましょう。

2 予習をしよう。授業がよりわかりやすくなります。

- ① 次の時間に学習する範囲の教科書（見開き2ページが基本）を必ず音読し、太文字の単語をチェックしましょう。
- ② 意味のわからない語句については、自分で調べておきましょう。



3 社会の出来事や動きに関心をもとう。

- ① 地球儀や地図帳をすぐ見る習慣を付けましょう。
テレビなどで出てきた場所をチェックしましょう。
- ② 歴史まんがを読んだり、歴史に関する番組を積極的に見たりするようにしましょう。
- ③ 新聞やテレビのニュース番組を見て、日本や世界、地域の出来事に興味をもつようにしましょう。

数学

1 予習は授業のための準備です。

- ① 授業の前日には、これから学習する内容について教科書3～4ページ程度を見ておきましょう。
- ② 不明なところを明らかにするとともに、どんなことを次の授業で勉強するかということをつかんでおきましょう。

2 宿題は、必ず習ったその日のうちにしよう。

- ① 授業のあったその日のうちに、宿題に取り組みましょう。
- ② わからないところは、先生や友達に質問して、確実に理解できるようにしましょう。

3 復習をしよう。

- ① 教科書の内容は確実に理解しましょう。
- ② 今日学習したところをもう一度解いたり、問題集などを使ったりして、できるだけたくさん問題を解きましょう。
- ③ テストなどで間違ったところは、やり直して、できるまで繰り返し行いましょう。できなかったところやわからなかったところをできるようにするのが勉強です。

4 その他

- ① 計算は、途中の式もきちんと書く習慣を付けましょう。
また、正確に速くできるようにしましょう。
- ② 線分図や表にあらわすと、わかりやすくなることもあります。
「書く」ことを面倒がらないことです。
- ③ ノートは、復習に使えるようにわかりやすく書き、工夫して見やすいものにしましょう。
ただし、「ノートをとるのに精一杯で、説明が聞けなかった」というようなことがないように気をつけましょう。色ペンなどは、赤、青など2色程度が適切です。
- ④ 数学の公式は繰り返し練習して、使えるようにしましょう。



理科

1 予習よりも、復習に力を入れよう。

- ・ 予習して結果がわかっていると、実物に接した時の感動が薄れます。実験前に理由をつけて予想したり、実験結果から考えたりといった【考える】活動が、予習で知ったことを【思い出す】活動になってしまいます。
- ・ 授業で学んだ知識を確実に身に付けるためには、復習が大切です。復習は、①覚える、②使う、③確かめる、のサイクルで取り組みましょう。（授業中にほぼ100%覚えたと思ったら、②から始めましょう。）

① 教科書を読んだり、まとめ直したりして、大切なことを覚えよう。

太字で書いてある言葉や、枠で囲まれている内容は特に重要なことです。読みながら「ここが大切!」と思ったら、ラインマーカー等で目立つようにしましょう。また、写真・図・グラフ等も確認して、視覚的なイメージをもちましょう。

改めてノートにまとめ直すと、頭の中も整理されます。単元の終わりやテストの前などに、取り組んでみましょう。



② 問題集をやって、覚えたことを思い出そう、使おう。

問題集に取り組んで、大切な言葉や内容を思い出したり、公式や知識を利用して考えてみたりしましょう。何度も使ってみる（思い出す）と、長期間安定して覚えておくことができます。

問題集は、答えを別冊に書くタイプを選んでいきます。日頃の復習（1回目）では別冊に書き込み、テスト前の復習（2回目）では問題集本体に書き込むように使いましょう。

③ 答え合わせをして、正しい答えを確認しよう。

問題を解いたら、時間を置かずに答え合わせをしましょう。自分では正しいと思っていても、思い違いということもあります。間違っていた部分には印をつけたり、別のノートに解き方と答えを書いたりして、解説をよく読み、理解を一層深めましょう。

④ 後日、間違えた問題を解きなおそう。

間違えた問題を本当に理解できているかどうかは、後日、自力で解けるかどうかで判断されます。答えやヒントを見ずに、自分の力だけで解けたとき、本当に理解したことになります。

2 自然体験や科学的な体験を増やし、本物に触れよう。

生き物・岩石・地層・星・天気など、自然の事物や現象を直接見たり感じたりしましょう。窓が曇る、水にものが溶けて見えなくなるなど、生活の中で科学的な現象に出会ったら、なぜそうなるのかを考えたり、学んだことを思い出したりしましょう。豊かな体験は、理科を学ぶ際の大きな力となります。自由研究にも積極的に取り組んでみましょう。

英語

1 予習しよう。

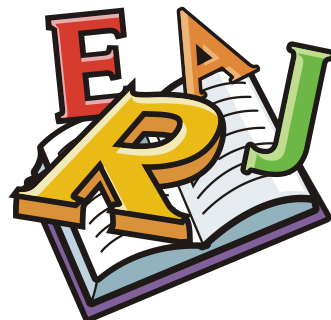
- ① 新出単語の意味を調べ、書いて練習しましょう。
- ② 本文をノートに書き写し、次に学習する内容を大まかにつかんでおきましょう。

2 復習しよう。

- ① 授業があったその日に、必ず復習しましょう。
ノートを自分の言葉でまとめる。ワークや eboard を使って練習問題を解く。など
- ② 教科書の本文を、声に出して読みましょう。
上から順に読む。キャラクター別に読む。スピードや声色を変えて読む。など
- ③ 学んだ表現や単語を、発音しながら繰り返し書いて覚えるようにしましょう。
1 語 1 語を丁寧に書く。発音しながら書く。自分で覚えるまで何回も書く。
新出語句や表現を使って英文を書いて練習する。など
- ④ プリントやワークブックの練習問題を繰り返し解きましょう。
問題だけをノートに写して、答えを見ずに、何度も解く。など
- ⑤ 授業で理解が不十分だったところは、先生に質問するなどして、その日のうちに解決しましょう。

3 自分の興味・関心から学びを深めよう。(発展的な学習として)

- ① A L T に自分から英語で話しかけてみましょう。
- ② 英語の音楽やラジオを聴いてみましょう。
- ③ テレビの二か国語放送の映画や天気予報を見てみましょう。
- ④ 好きなことに関する英語を調べてみましょう。



家庭学習は、宿題だけをすればよいというものではありません。特に中学生は、卒業に向けて一人一人が自分の進路を決めていかなければなりません。自らの希望を叶えるためには、宿題など指示されたことをするだけでなく、自らの課題を明らかにして、改善していく努力が大切です。そのためにも、自分から進んで、学習しましょう。

また、中学生は、部活動に参加する人、学習塾などに通う人も多く、家庭での時間がまちまちです。現在の実力も、人によって差があります。一方、小学生の時よりも、自分で考える力が備わっています。ですから中学生では、自主学習が家庭学習の基本となります。

社会人として自立できる力を身に付け、明るい未来を自ら拓いていけるように、今できることに精一杯取り組みましょう。

令和4（2022）年度の主なテスト予定

【定期テスト】	6月10日（金）	1学期中間
	9月6日（火）	1学期期末
	11月17日（月）	2学期中間（3年生）
	11月25日（金）	2学期中間（1・2年生）
	12月9日（金）	学年末（3年生）
	2月9日（木）	学年末（1・2年生）
【実力テスト 1年生】	7月13日（水）	第1回
	10月13日（木）	第2回
	1月11日（火）	第3回
	3月7日（月）	第4回
【実力テスト 2年生】	4月13日（水）	第1回
	7月13日（水）	第2回
	10月13日（木）	第3回
	1月11日（火）	第4回
	3月7日（月）	第5回
【実力テスト 3年生】	4月13日（水）	第1回
	7月13日（水）	第2回
	9月16日（金）	第3回
	10月14日（金）	第4回
	11月9日（金）	第5回
	12月1日（木）	第6回
	2月9日（木）	第7回
全国学力・学習状況調査（3年生が対象）		4月19日（火）
とちぎっ子学習状況調査（2年生が対象）		4月19日（火）
学習内容定着度調査（3年生が対象）		12月14日（水）
高校入試	県内私立高校・第1回	主に1月上旬旬
	栃木県立高校・一般選抜	3月8日（水）